

やししま

笑顔とふれあいの健康ライフ

新型コロナウイルス感染症対策実施中

〒761-0186

香川県高松市屋島西町2105番17

Tel 087-841-9141 Fax 087-841-7392

ホームページアドレス: www.yashima-hp.com

屋島総合病院

検索

発行：企画広報委員会



J.A. 全中 医療従事者 笑顔ちゃん



どうぞご自由にお取りください



新年明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症第8波の真ただ中で迎える新年となりましたが、皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、コロナ社会が始まり丸3年を迎えた現在も流行の波が繰り返されています。重症化率や死亡率はインフルエンザと同等になったとは言われますが、やはり特別な扱いが必要な状況に変わりはありません。当院の感染対策委員長を務めて11年となりましたが、まさかこれほどまでに感染対策業務に追われることになるとは思ってもみませんでした。中国のゼロコロナ政策は当然ながら崩壊しました。コロナ終息・撲滅などまず望めない中、いつまでも留まっているわけにはいきませんから社会経済活動をできるだけ取り戻していくことは当然と思います。ただ、世の中は益々ウイズコロナになっていく中、医療現場は限りなくゼロコロナを求められることに苦悩しています。おそらくは、これまでの飛沫感染と空気感染という二元論では説明できない異なった伝播様式（エアロゾル感染）が主となっているこのウイルスの感染力は強く、感染が院内で暴走を始めると凄惨な状況になることを当院も経験し、患者さんや地域の皆様にも多大なるご迷惑をおかけしました。問題を抽出・検討し、感染対策の修正を行ってまいりましたが全く予断を許さぬ状況です。ちょっとした気の緩みなどの隙間について侵入し水面下で拡大する。そして身体だけではなく、人の心にまで入り込んできて、怒りや憎しみの感情まで引き起こす。本当に嫌なウイルスです。

いばらの道は続きますが、引き続き最大限の感染対策を取りながら、病院全体の診療体制を維持し地域医療に貢献したいと考えます。今後ともどうか変わらぬご指導を賜りますよう宜しくお願いいたします。

最後に本年の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



* おかやまマラソン2022での写真です

病院長補佐 感染対策委員長
外科部長 植田 宏治

教えて!!
ドクター

質問コーナー



立っていると、太ももの付け根辺りに軟らかい膨らみがあります。横になると引っ込むのですが、歩く時何となく違和感があります。

痛みは無いので放置しても大丈夫でしょうか？

(男性外来患者より)

太ももの付け根辺りに軟らかい膨らみがある場合、「鼠径(そけい)ヘルニア」が考えられます。「ヘルニア」とは、臓器や組織が本来あるべき位置からはみ出した状態をいいます。鼠径ヘルニアは、鼠径部にある筋膜が弱くなり、腸の一部や内臓の脂肪組織が飛び出して起こります。痛みが無くても手術が必要で、手術以外の方法で自然に治ることはありません。

▶ 男性に多い疾患 原因は強い腹圧や加齢

原因は、日常的に重い物を持つなどして腹圧がかかることや、加齢により鼠径部の筋肉や筋膜が弱くなることで、患者さんの約7割が男性です。男性は鼠径部に精管などが通っていて鼠径管のサイズが太いことに加え、腹圧のかかる運送業や立ち仕事の従事者が多いことなどが理由に挙げられます。

鼠径部に膨らみができて見つかる場合がほとんどで、初期には痛みもありません。しかし、放置していると徐々に膨らみが大きくなったり、飛び出した臓器が周囲の筋肉に締め付けられて元の位置に戻らなくなる「嵌頓(かんとん)」という状態になったりすることもあります。その場合、腸閉塞を起こして腹部に強い痛みが出たり、嘔吐などの症状が表れたりすることがあります。

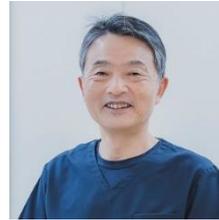
▶ 腹腔鏡手術が主流 翌日退院も可能

従来は開腹手術が行われていましたが、現在は腹腔鏡手術が主流になっています。腹部に小さな穴を3カ所程度あけ、その一つから腹腔鏡を入れて観察しながら、他の穴から入れた手術器具を使って隙間をふさぐもので、傷跡が小さく、術後の痛みも少なくてすみます。早い人では手術の翌日、平均4～5日で退院、日常生活に戻れます。

当院でも毎週木曜日に「ヘルニア専門外来」を設けるなど、鼠径ヘルニアはとても多い疾患です。「恥ずかしい」と受診をためらう人もいますが、異変に気付いたら痛くなくても放置せずに医療機関を受診することをお勧めします。

今回、答えて下さったのは…

副院長 外科部長 齊藤 誠 先生



【専門領域】
外科全般、乳腺外科
消化器外科(内視鏡手術)

【専門医】
・日本外科学会一外科認定医、外科専門医、
・日本消化器外科学会一消化器外科認定医、消化器外科専門医、消化器外科学会指導医、消化器がん外科治療認定医
・マンモグラフィー検診精度管理中央委員会認定検診マンモグラフィー読影医師
・日本がん治療認定医機構がん治療認定医
・日本乳癌学会乳腺認定医
・日本経腸栄養学会認定医

【外来診療】
火曜日 午前
木曜日 午前

【乳腺外来】
火曜日 午後

【ヘルニア外来】
木曜日 午後

◎こんな症状が出たら早めの受診を

- ・立った時、足の付け根に膨らみがある
- ・膨らみを指で押さえると引っ込む
- ・膨らみがだんだん大きくなる
- ・歩行時や排便時、くしゃみをした時に、下腹部に違和感がある

医師紹介

2022年9月から2023年1月の間に赴任した医師を紹介します。
より良い医療を目指して活躍中です。今後ともよろしくお願いいたします。



内科 医員 コルビン・ヒュー 俊佑 (コルビン・ヒュー しゅんすけ)

2022年10月に香川県立中央病院の内科専攻医プログラムからきましたコルビンと申します。温かく受け入れてくださりありがとうございます。屋島総合病院では充実した研修をさせていただいております。残りの3ヶ月も頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。



内科 研修医 小林 慎太郎 (こばやし しんたろう)

あけましておめでとうございます。初期研修医として9月から外科を、10月からは内科で研修させて頂いております小林慎太郎と申します。至らぬところがあまりにも多いので、既に様々な面でご迷惑をおかけしているかと思っております。屋島総合病院での研修は3月までのため、残りは短いですが研修医として、一人の人間として成長できるよう頑張ります。今後ともよろしくお願いいたします。



内科 研修医 坂本 泰輔 (さかもと たいすけ)

初期研修医2年目の坂本泰輔と申します。1月から3月まで当院内科で研修させていただきました。3年目以降は消化器内科を専攻する予定ですが、それに限らず内科一般の疾患について広く研修できればと考えております。また、手技などについても多く経験できればと考えております。まだまだ至らない点が多々あるかと思っておりますが、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

TOPIC

2023年1月下旬 ホームページをリニューアルいたします

いつも屋島総合病院のホームページをご覧いただきましてありがとうございます。

この度、ホームページを全面的にリニューアルし
2023年1月下旬より公開予定としております。

皆さまに、より快適にホームページを閲覧いただけるよう、ページ構成ならびにサイトデザインの見直しを行っています。今後もよりいっそう充実したホームページにしていまいりますので何卒よろしくお願いいたします。

*更新作業の進行度により公開日は前後する場合がございます。



注) リニューアル後は、ページのURLが変更になっている箇所もございます。ブラウザの「お気に入り」「ブックマーク」などに登録されている場合は、お手数ではございますが、新しいURLへの変更をお願いいたします。



ホームページアドレス: www.yashima-hp.com

屋島総合病院

検索



認定看護師とは、特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護を実践できるものとして、日本看護協会の認定審査に合格した看護師です。当院では、より質の高い医療を提供するために、各分野の認定看護師が専門的な医療・看護を実践するために日々活動しています。



◇ 救急看護認定看護師

救急や急変場面で重症度を的確に把握し、患者さんへ最善なケアが提供されるよう活動をしています。また、救急看護への興味を高め、急変時対応の知識・技術の向上を目指した研修プログラムの計画や、救急・災害マニュアルの整備を行っています。

◇ 感染管理認定看護師

院内感染対策は、患者さんだけでなく、ご家族や職員を含め病院に関わるすべての人を感染から守ることを目的としています。院内での定期的な職員研修や巡回（ラウンド）などを通じて教育や指導・対応など多職種がチーム一丸となって活動しています。

◇ 糖尿病看護認定看護師

あらゆるライフステージの糖尿病患者さん・ご家族へ療養のお手伝いをさせていただきます。また、内科外来では糖尿病患者さんを対象にフットケア外来を行っており、足病変の発症予防と悪化予防に努めています。

◇ 認知症看護認定看護師

2021年度より、「認知症ケアチーム」を立ち上げ、スタッフと協働し認知症看護に取り組んでいます。認知症の方が入院中において、生活リズムや心身の安定が保つことができるよう、より良い環境づくりに取り組んでいます。

保険証確認にご協力をお願いします



当院では、適正な保険請求を行うため、厚生労働省規則に基づき「保険証の提示」をお願いしております。はじめて当院を受診する際には保険証のご提示をお願いしますので、必ず忘れずにご持参ください。

当院にて治療中の患者さまも、月に一度は必ず再来受付窓口にご提示くださいますようお願いいたします。2ヶ月以上保険証の確認ができていない場合、受付ができなくなることがあります。

※参考（保健医療機関及び保険医療養担当規則第3条（受給資格の確認））保健医療機関は、患者から療養の給付を受けることを求められた場合には、その者の提出する被保険者証によって療養の給付を受ける資格があることを確かめなければならない。



【編集後記】

新年あけましておめでとうございます。今年も「広報誌やしま」をよろしく願いいたします。令和5年は卯年。うさぎはその跳躍する姿から「飛躍」や「向上」の象徴とされています。新型コロナウイルス感染症が収束し、私たちの生活が「飛躍に向上」することを願ってやみません。今年も引き続き感染症対策に気を付けながらではありますが、楽しい話題や明るい話題を報告できたらいいなと思っております！

（企画広報委員会）

